UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

平成27年度 後学期

富山大学 オープン・クラス

受講生募集要項

県民カレッジ連携講座

オープン・クラスとは

富山大学では、
「オープン・クラス」と称して、
学生のための通常の授業の
一部を地域の皆様に公開し、
学びの場を広く提供しています。
ぜひ本学の学生・教職員と
一緒にキャンパスライフを
ご体験ください。

富大生と一緒に学びませんか？

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 27 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	10月2日(金)～12月24日(木) ※一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
冬季休業	12月25日(金)～1月4日(月) ※一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
授　　業	1月5日(火)～2月2日(火) ※一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
補　　講	2月3日(水)～2月9日(火) ※科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		2月3日(水)～2月17日(水) ※科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。
注　　意	＊1月15日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。		
	＊11月26日(木)は月曜日の授業を行います。 ＊1月12日(火)は月曜日の授業を行います。		＊11月26日(木)は月曜日の授業を行います。 ＊1月12日(火)は月曜日の授業を行います。

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく一般市民の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 4
Ⅱ　受講手続 …… 5
Ⅲ　受講に際して …… 6
Ⅳ　その他 …… 7
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育
・教養教育（五福）…… 8
〇専門科目
・人文学部 …… 10
・人間発達科学部 …… 12
・経済学部 …… 14
・理学部 …… 16
・工学部 …… 19

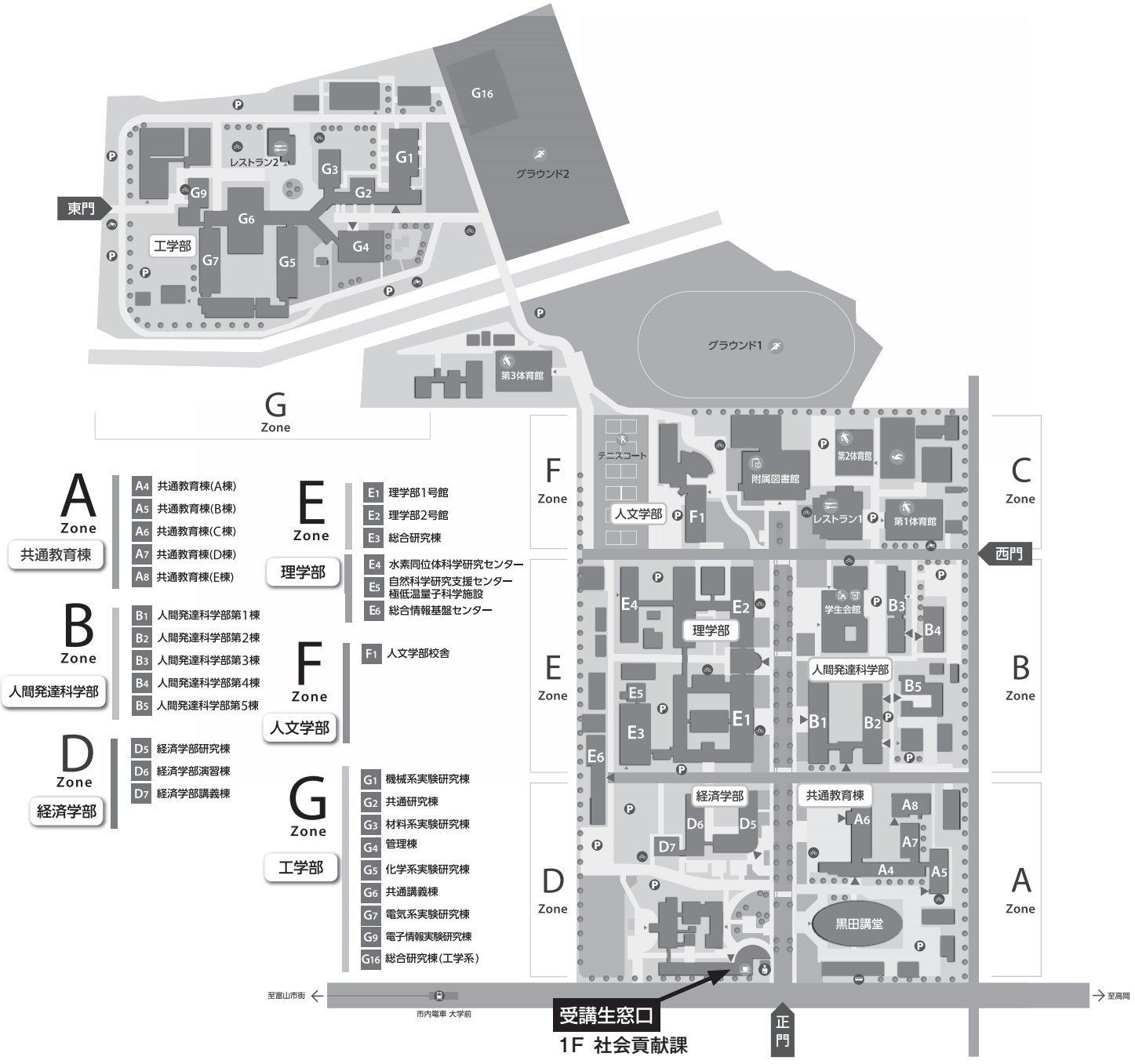
高岡キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 24
Ⅱ　受講手続 …… 25
Ⅲ　受講に際して …… 26
Ⅳ　その他 …… 27
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部 …… 28

杉谷キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 32
Ⅱ　受講手続 …… 33
Ⅲ　受講に際して …… 34
Ⅳ　その他 …… 35
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育
・教養教育（杉谷）…… 36
受講希望調書 …… 37

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　社会貢献課

〒930-8555　富山市五福3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ８～Ｐ 21 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 27 年 10 月２日（金）～平成 28 年２月２日（火）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 27 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を**９月７日（月）から９月24日（木）まで**に下記五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　社会貢献課
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴期間）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成27年10月2日（金）～10月15日（木）

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

また、五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育
　　学務課　教養教育チーム　　電話 076-445-6031
○　人文学部
　　人文学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6138
○　人間発達科学部
　　人間発達科学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6258
○　経済学部
　　経済学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6517
○　理学部
　　理学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6546
○　工学部
　　工学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	人間と倫理	澤　田　哲　生	火・5	未定＊	5	A	
2	こころの科学	姜　　信　善	月・6	未定＊	5	A	
3	こころの科学	黒　川　光　流	火・5	未定＊	5	A	
4	現代と教育	藤　田　公仁子	火・5	未定＊	10	A	
5	日本の歴史と社会	高　橋　浩　二	火・1	未定＊	5	A	
6	東洋の歴史と社会	澁　谷　由　里	火・5	未定＊	3	A	・初めて受講する方を優先します。
7	西洋の歴史と社会	大　西　吉　之	火・2	未定＊	3	A	
8	西洋の歴史と社会	入　江　幸　二	水・7	未定＊	5	A	
9	日本文学	奥　野　美友紀	火・1	未定＊	5	A	
10	日本文学	朝　木　敏　子	火・2	未定＊	5	A	
11	外国文学	吉　田　　泉	火・5	未定＊	5	A	
12	言語と文化	呉　人　　恵	火・1	未定＊	5	A	
13	言語と文化	安　藤　智　子	火・2	未定＊	3	A	
14	音楽	大　谷　多賀子	月・2	未定＊	5	A	
15	現代社会論	橋　本　　勝	火・5	未定＊	4	A	
16	日本国憲法	神　山　智　美	火・5	未定＊	5	A	
17	経済生活と法	櫻　井　利　江	木・5	未定＊	3	A	・パソコン使用 （Moodle 使用）
18	市民生活と法	木　原　　淳	火・5	未定＊	若干名	A	
19	はじめての経済学	モヴシュク・ オレクサンダー	月・2	未定＊	5	A	
20	産業と経済を学ぶ	金　　奉　吉	木・5	未定＊	5	A	
21	市場と企業の関係	坂　田　博　美	木・5	未定＊	5	A	
22	地域の経済と社会・文化	山　根　　拓	火・5	未定＊	5	A	
23	地球と環境	松　浦　知　徳	火・1	未定＊	若干名	A	
24	地球と環境	丸　茂　克　美	月・2	未定＊	5	A	
25	生命の世界	星　野　一　宏	月・2	未定＊	5	A	
26	生命の世界	石　井　　博	木・5	未定＊	10	A	

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	物理の世界	兼 村 晋 哉	火・5	未定 *	5	A	
28	化学物質の世界	井 川 善 也	月・2	未定 *	5	A	
29	自然と情報の数理	池 田 榮 雄	火・5	未定 *	5	A	
30	社会と情報の数理	堂 谷 昌 孝	火・1	未定 *	5	A	
31	技術の世界	小 熊 規 泰	木・5	未定 *	10	A	
32	生活の科学	秋 月 有 紀	火・5	未定 *	5	A	
33	コンピュータの話	戸 田 英 樹	木・5	未定 *	5	A	
34	コンピュータの話	参 沢 匡 将	金・6	未定 *	5	A	
35	ドイツ語B (4)	宮 内 伸 子	月・4	未定 *	3	B	・ドイツ語を１年間学習した程度の初級文法知識のある人に限ります。
36	ドイツ語B (4)	Wolfgang Zoubek	水・4	未定 *	3	B	・ドイツ語を１年間学習した程度の初級文法知識のある人に限ります。
37	フランス語B (4)	近 藤 壽 良	金・4	未定 *	10	B	
38	ロシア語B (4)	中 澤 敦 夫	月・2	未定 *	5	B	
39	中国語B (4)	応　　広 建	金・4	未定 *	5	B	
40	朝鮮語B (4)	上 保　　敏	金・3	未定 *	3	B	
41	ラテン語B (2)	松 﨑 一 平	月・2	未定 *	制限なし	A	
42	健康・スポーツ論	布 村 忠 弘	金・2	未定 *	5	A	
43	健康・スポーツ論	福 島 洋 樹	月・2	未定 *	3	A	
44	健康・スポーツ論	福 島 洋 樹	月・4	未定 *	3	A	
45	健康・スポーツ論	大 川 信 行	月・4	未定 *	5	A	
46	健康・スポーツ論	山 崎 先 也	木・1	未定 *	5	A	
47	健康・スポーツ論	山 崎 先 也	木・2	未定 *	5	A	
48	言語表現	坂　　幸 夫	火・3	未定 *	5	A	
49	言語表現	佐 山 三千雄	金・2	未定 *	5	A	
50	コロキアム（競馬学）	立 川 健 治	月・5	未定 *	5	A	
51	コロキアム（世界の映画）	末 岡　　宏	月・5	未定 *	20	A	

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	西洋思想史	永井龍男	火・4	人文1	5	B	
2	哲学講読	永井龍男	木・1	人文3	3	B	
3	哲学講読	池田真治	火・3	人文601	3	B	
4	西洋思想史	池田真治	金・2	人文1	5	B	
5	哲学特殊講義	池田真治	火・5	人文5	3	C	
6	人間学講読	松﨑一平	水・1	人文3	5	A	
7	宗教思想	松﨑一平	木・2	未定	5	A	
8	人間学演習Ⅰ	田畑真美	木・4	人文601	3	C	
9	現代と思想	澤田哲生	木・3	人文6	5	A	
10	言語学概論Ⅰ	呉人恵	月・4	人文2	5	A	
11	言語学特殊講義E	樋野幸男	火・1	人文2	5	B	
12	言語学講読	樋野幸男	木・1	人文701	3	B	
13	言語学演習Ⅰ	安藤智子	水・2	人文3	2	C	
14	心理学概論Ⅰ	黒川光流 坪見博之 喜田裕子	金・5	人文4	5	A	
15	日本史特殊講義	熊谷隆之	木・3	人文1	5	B	
16	古文書学実習	熊谷隆之	金・3	人文2	5	B	
17	東洋史概説Ⅱ	澁谷由里	木・4	人文3	3	B	・初めて受講する方を優先します。
18	西洋史特殊講義（1）	入江幸二	木・4	人文4	5	B	
19	西洋史講読	漆間真由美	火・3	人文7	3	B	
20	考古学特殊講義	髙橋浩二	木・1	人文1	3	B	
21	社会学概論	伊藤智樹	火・1	人文6	5	A	
22	人文地理学概論	大西宏治	火・4	人文4	5	A	・パソコン使用（Moodle 使用）
23	文化人類学概論	藤本武	木・4	人文6	5	A	
24	国際文化概論	青木恭子 鈴木信昭 末岡宏 小野直子	木・5	人文6	10	B	
25	中国文化講読	末岡宏	火・4	人文502	5	B	
26	日本文学特殊講義	呉羽長	水・2	人文6	5	C	
27	日本文学史	小谷瑛輔	水・1	人文2	5	A	

学部名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	朝鮮言語文化特殊講義	宋　有宰	木・1	人文211	3	C	・朝鮮語と日本語の違いについて，受講生自ら考え，調べてレポートを作成する授業です。
29	中国語学概論	森賀一恵	木・1	人文5	3	A	
30	中国言語文化講読	森賀一恵	木・2	人文417	3	B	
31	中国言語文化演習	大野圭介	月・4	人文417	3	B	・現代中国語を習得していることを前提として授業を行う。
32	中国言語文化特殊講義	大野圭介	木・3	人文2	5	B	
33	英米言語文化講読Ⅰ	大工原ちなみ	火・1	人文1	3	B	
34	英米言語文化演習Ⅱ	大工原ちなみ	火・2	人文1	3	C	
35	英語学講読Ⅰ	奥村　譲	月・3	人文2	3	B	
36	英米言語文化演習Ⅱ	奥村　譲	月・2	人文1	3	C	
37	英米言語文化特殊講義	恒川正巳	月・5	人文2	4	B	
38	英米言語文化演習Ⅱ	恒川正巳	木・4	未定	4	C	
39	英語学講読Ⅱ	藤川勝也	木・3	人文4	3	C	
40	ドイツ言語文化演習Ⅱ	黒田　廉	金・2	人文LL	3	B	・事前に面接を行います。 ・パソコン使用 （端末室の授業）
41	ドイツ言語文化講読Ⅰ	黒田　廉	金・5	人文416	3	C	・事前に面接を行います。 ・パソコン使用 （端末室の授業）
42	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ(1)	ヴォルフガング ツォウベク	火・2	人文416	3	B	
43	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ(2)	ヴォルフガング ツォウベク	金・2	人文416	3	B	
44	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ(1)	ヴォルフガング ツォウベク	火・3	人文416	3	C	
45	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ(2)	ヴォルフガング ツォウベク	金・3	人文416	3	C	
46	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング ツォウベク	水・3	人文416	2	B	
47	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング ツォウベク	水・2	人文416	2	C	
48	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ヴォルフガング ツォウベク	火・4	人文416	2	B	
49	フランス言語文化特殊講義	中島淑恵	月・2	人文3	5	B	
50	ロシア言語文化演習Ⅱ	中澤敦夫	木・3	人文316	5	C	
51	ロシア言語文化講読Ⅰ	中澤敦夫	木・4	人文316	5	B	
52	ロシア語学概論	中澤敦夫	月・3	人文316	5	B	
53	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・3	人文316	5	B	
54	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・2	人文316	5	C	
55	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	金・2	人文316	5	C	
56	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	水・4	人文316	5	C	
57	ロシア文化論	カザケーヴィチ ヴェチェスラフ	金・4	人文316	5	C	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：人間発達科学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	知覚心理学	佐藤　徳	木４	人間 117	3	C	
2	認知心理学	小川　亮	金５	人間実践センター	3	B	・パソコン使用（Moodle 使用）
3	心理学教育論	小川　亮	金４	人間実践センター	3	B	・パソコン使用（Moodle 使用）
4	発達心理学	姜　信善	木４	人間 141	3	B	
5	青年心理学	姜　信善	月４	人間 112	3	B	
6	臨床心理学	石津憲一郎	月２	人間実践センター	5	B	
7	学級集団心理学	佐藤　徳	金１	人間 141	5	A	
8	学校文化論	増田美奈	木１	人間 113	3	A	
9	地域交流活動論	隅　敦	木１	人間 332	5	A	
10	幼児理解と相談支援	小林　真	金５	人間 111	5	A	
11	幼児教育・保育課程論	若山育代	金３	人間 113	3	C	
12	保育内容総論	若山育代	火４	人間 111	3	B	
13	社会福祉概論Ⅰ	志賀文哉	金１	人間 331	5	A	
14	社会学	志賀文哉	金４	人間 331	5	B	
15	軽度発達障害児教育総論	水内豊和	火４	人間 114	3	B	
16	就労支援論	志賀文哉	木３	人間 116	5	B	
17	司法福祉論	小林　真	木４	人間 114	3	B	
18	保育原理	西館有沙	木４	人間 113	5	A	
19	社会的養護	西館有沙	火４	人間 113	5	B	
20	保育者論	若山育代	月１	人間 111	3	B	
21	保育の心理学Ⅰ	小林　真	月５	人間 113	3	A	
22	家庭支援論	西館有沙	月１	人間 113	5	B	
23	地域と健康	布村忠弘	木２	人間 311	10	B	
24	スポーツ心理学	福島洋樹	金２	人間 311	10	B	
25	スポーツ社会学	神野賢治	月４	人間 311	3	B	
26	スポーツ史	大川信行	水１	人間 331	3	B	
27	運動生理学	堀田朋基	月１	人間 331	5	B	
28	解剖学	布村忠弘	火４	人間 311	5	A	
29	学校と健康	布村忠弘	木４	人間 342	10	B	

学部名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
30	スポーツ指導論	佐伯聡史	金２	人間 332	5	B	
31	スポーツ運動学	佐伯聡史	火３	人間 311	5	B	
32	スポーツ動作分析法	堀田朋基	火４	人間 342	5	B	
33	環境科学入門	片岡弘 林衛	水２	人間 341	5	A	
34	環境とエネルギー	成行泰裕	月１	人間 211	3	C	
35	化学物質の機能と環境	片岡弘	火２	人間各実験室	5	A	・教室については，別途お問い合わせください。
36	科学技術社会論	林衛	木１	人間端末室	5	A	・パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
37	環境コミュニケーション論	林衛	金２	人間各演習室	3	B	・パソコン使用（Moodle 使用）
38	地球表層変動学	椚座圭太郎	火４	人間各実験室	5	B	・教室については，別途お問い合わせください。
39	ホームマネージメント	神川康子	水２	人間 211	3	B	
40	カラーコーディネート論	秋月有紀	火４	人間 211	5	B	
41	生活工学	秋月有紀	木１	人間 211	5	A	
42	都市景観論	秋月有紀	木２	人間 211	5	A	
43	ヒトの動きの機能解剖学	鳥海清司	火１	人間 311	3	A	・パソコン使用（Moodle 使用）
44	身体の形態と機能の測定	鳥海清司	金３	人間 332	3	C	
45	人間安全保障論	池田丈佑	水２	人間 221	3	B	・パソコン使用（Moodle 使用）
46	気候環境論	田上善夫	月１	人間 221	3	B	
47	地域企業論	根岸秀行	木３	人間 112	3	B	
48	基本プログラミング	竹村哲	水１	総合情報基盤センター 3F	3	A	・パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
49	数理システム概論	山口範和	木２	人間 331	3	A	
50	線形システム概論	大森克史	木４	人間 332	3	B	
51	情報幾何学	山口範和	火３	人間 331	3	B	
52	モデル化とシミュレーション	大森克史	火４	人間 332	3	B	
53	基本統計	山口範和	火２	人間 331	3	B	
54	教育工学概論	山西潤一	金２	人間 333	3	B	
55	情報教育概論	山西潤一 黒田卓	金３	人間 333	3	B	
56	メディア芸術論	鼓みどり	火３	人間 342	3	A	
57	メディアコミュニケーション概論	鼓みどり	木２	総合情報基盤センター 2F	3	A	・パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	ミクロ経済学Ⅱ	岩　田　真一郎	月1 木3	未定＊	3	B	・13,300円
2	経営史	長谷部　宏　一	月1 木3	未定＊	3	C	・13,300円
3	経済法	中　出　孝　典	月1 木3	未定＊	3	B	・13,300円
4	経済史総論	大　西　吉　之	月2 木2	未定＊	3	B	・13,300円
5	貿易論	岸　本　壽　生	月2 木2	未定＊	5	B	・13,300円
6	計量経済学	モヴシュク　オレクサンダー	月3 金2	未定＊	5	B	・パソコン使用（端末室の授業，Moodle使用） ・13,300円
7	経営システム	古　川　　勝	月3 金2	未定＊	5	C	・指定テキストでの自習が要件（前提）になります。 ・13,300円
8	外国書講読Ⅱ	新　里　泰　孝	月4	未定＊	3	B	・パソコン使用 （Moodle使用）
9	政治経済学	松　山　　淳	火1 水2	未定＊	10	B	・13,300円
10	人的資源管理	馬　　駿	火1 水2	未定＊	5	B	・13,300円
11	金融取引法	福　井　　修	火1 水2	未定＊	5	B	・13,300円
12	経済学入門	中　村　和　之	火2	未定＊	5	A	・パソコン使用 （Moodle使用）
13	経済学入門	岩　田　真一郎	火2	未定＊	3	A	・パソコン使用 （Moodle使用）
14	経営戦略論	内　田　康　郎	火3 金1	未定＊	3	B	・13,300円
15	刑事訴訟法	八　百　章　嘉	火3 金1	未定＊	5	B	・13,300円
16	地域経済論	小柳津　英　知	火4 木1	未定＊	3	B	・13,300円
17	刑法総論	秋　葉　悦　子	火4 木1	未定＊	5	B	・13,300円
18	外国書講読Ⅱ	若　林　丈　靖	火4	未定＊	3	B	
19	労働経済論	坂　　幸　夫	水1 金3	未定＊	5	C	・13,300円
20	国際取引法	立　石　孝　夫	水1 金3	未定＊	10	B	・13,300円
21	経営学と経済学で出る数学	白　石　俊　輔	木1	未定＊	3	A	
22	証券市場論	本　間　哲　志	金3	未定＊	10	A	
23	ファイナンスの基礎	白　石　俊　輔	金4	未定＊	3	B	
24	経営学特殊講義 「企業分析論」	森　口　毅　彦	金4	未定＊	5	B	
25	経営学特殊講義 「国際ビジネス支援事業」	清　家　彰　敏 森　岡　　裕 岩　内　秀　徳	水3	未定＊	10	B	
26	経営法学特殊講義 「国際私法概説」	岩　本　　学	火3	未定＊	3	C	
27	地域社会学Ⅱ	高　山　龍太郎	月6	未定＊	5	B	・パソコン使用 （Moodle使用）
28	経営学入門	森　岡　　裕	火6 火7	未定＊	5	A	・13,300円

学部名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	環境経済学	龍　世　祥	水6 水7	未定 *	10	B	・13,300 円
30	経営組織論	清　家　彰　敏	水6 水7	未定 *	10	C	・13,300 円
31	法学入門	橋　口　賢　一 高　田　　寛	木6 木7	未定 *	5	A	・13,300 円
32	国際経済学	垣　田　直　樹	木6 木7	未定 *	3	C	・13,300 円
33	ゲーム分析	平　井　俊　行	木6 木7	未定 *	5	B	・13,300 円
34	財政学	中　村　和　之	金6 金7	未定 *	5	B	・パソコン使用 （Moodle 使用） ・13,300 円
35	商法	志津田　一　彦	金6 金7	未定 *	5	B	・13,300 円

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：理学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	微分積分学Ⅱ	数学科	藤　田　安　啓	月４	共通 C13	若干名	C	(注１)
2	応用数学基礎	数学科	川　部　達　哉	木１	共通 C12	若干名	C	(注１)
3	幾何学特論Ｂ	数学科	永　井　節　夫	木５	理 A425	若干名	C	(注１)
4	解析学特論Ｂ	数学科	阿　部　幸　隆	水２	理 A239	若干名	C	(注１)
5	情報数理特論Ｂ	数学科	上　田　肇　一	月５	理 A135	若干名	C	(注１)
6	微分積分学Ｂ	数学科	出　口　英　生	金４	理 A239	若干名	C	(注１)
7	解析学Ⅱ	数学科	池　田　榮　雄	火４	理 A424	若干名	C	(注１)
8	線形代数学Ｂ	数学科	久　保　文　夫	火１	理 A336	若干名	C	(注１)
9	線形代数学Ⅱ	数学科	山　根　宏　之	月４	理 A336	若干名	C	(注１)
10	解析学Ⅴ	数学科	濱　名　正　道	火５	理 A239	若干名	C	(注１)
11	代数学Ⅰ	数学科	山　根　宏　之	火２	共通 B21	若干名	C	(注１)
12	位相空間論Ⅰ	数学科	菊　池　万　里	木４	理 A337	若干名	C	(注１)
13	複素解析学Ⅰ	数学科	阿　部　幸　隆	月３	理 A424	若干名	C	(注１)
14	実解析学Ⅰ	数学科	藤　田　安　啓	木３	理 A337	若干名	C	(注１)
15	プログラミングⅡ	数学科	幸　山　直　人	水４	センター 2F 端末室	若干名	C	(注１)
16	微分方程式論Ⅰ	数学科	藤　田　景　子	金３	理 A424	若干名	C	(注１)
17	代数学Ⅲ	数学科	木　村　　巌	月１	理 A238	若干名	C	(注１)
18	幾何学Ⅱ	数学科	古　田　高　士	火４	理 A336	若干名	C	(注１)
19	数値解析学	数学科	上　田　肇　一	月４	理 A239	若干名	C	(注１)
20	関数解析学	数学科	濱　名　正　道	金２	理 A239	若干名	C	(注１)
21	力学序論	物理学科	桑　井　智　彦	火１	理 A239	若干名	A	
22	物理数学Ａ	物理学科	栗　本　　猛	金４	理 A238	5	C	
23	力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	金３	理 A238	5	B	・パソコン使用
24	電磁気学Ⅰ	物理学科	森　脇　喜　紀	火２ 金２	理 A238	5	A	・13,300 円 ・パソコン使用
25	熱力学	物理学科	田　山　　孝	火４	理 A337	若干名	B	・パソコン使用
26	統計力学	物理学科	飯　田　　敏	月１ 火３	理 A239	5	C	・熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。 ・13,300 円 ・パソコン使用
27	量子力学Ⅱ	物理学科	兼　村　晋　哉	月２	理 A239	若干名	C	・パソコン使用
28	物性物理学Ａ	物理学科	池　本　弘　之	火２	理 C104	若干名	B	・パソコン使用

学部名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
29	核・素粒子物理学Ａ	物理学科	兼　村　晋　哉	金２	理 A336	5	C	・パソコン使用
30	電磁波物理学	物理学科	小　林　かおり	水２	理 A424	５名程度	B	・量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。
31	化学概論Ⅱ	化学科	宮　澤　眞　宏	木３	理 A424	５名程度	A	・パソコン使用
32	化学概論Ⅱ	化学科	林　　直　人	木３	共通 D21	５名程度	A	
33	放射線基礎学	化学科	鳥　養　祐　二	火１	共通 C22	若干名	A	
34	化学熱力学Ⅰ	化学科	岩　村　宗　高	金４	理 C104	５名程度	A	
35	量子化学Ⅰ	化学科	野　﨑　浩　一	火１	理 A238	５名程度	B	
36	有機化学Ⅰ	化学科	樋　口　弘　行	月５	理 A424	５名程度	A	
37	化学反応学	化学科	大　澤　　力	水１	理 A238	若干名	B	
38	無機化学Ⅰ	化学科	柘　植　清　志	月２	理 A337	５名程度	A	
39	構造有機化学	化学科	林　　直　人	月１	理 A337	５名程度	B	
40	反応有機化学	化学科	横　山　　初	水２	理 A238	５名程度	B	
41	化学平衡学	化学科	原　　正　憲	火１	理 C203	若干名	B	・化学熱力学を受講済みであること。
42	溶液化学	化学科	鈴　木　　炎	金２	理 C204	若干名	C	
43	材料科学	化学科	波多野　雄　治	火２	理 C203	１０名程度	B	
44	合成有機化学	化学科	宮　澤　眞　宏	木２	理 C104	５名程度	C	
45	生化学	化学科	井　川　善　也	金２	理 A424	10 名程度	B	・有機化学の基礎知識に加え、生物学科「基礎生化学」を受講済み、程度の知識をもつことが望ましい。 ・パソコン使用
46	基礎細胞遺伝学	生物学科	岩　坪　美　兼	金４	理 C203	5	B	
47	動物生理学	生物学科	菊　川　　茂	木２	理 A238	５名程度	A	
48	植物生理学	生物学科	唐　原　一　郎	水２	理 C105	5	B	
49	発生制御学	生物学科	若　杉　達　也	火２	理 A239	5	C	
50	分子遺伝学	生物学科	土’田　　努	木１	理 A238	5	B	
51	一般地質学	地球科学科	大　藤　　茂	火１	理 A424	若干名	A	
52	地球内部物理学	地球科学科	渡　邊　　了	火２	理 A337	若干名	B	
53	岩石学	地球科学科	石　﨑　泰　男	水２	理 A336	若干名	B	
54	環境基礎生物学Ａ	生物圏環境科学科	中　村　省　吾	金３	理 C104	若干名	B	
55	環境基礎化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	月５	理 C104	若干名	A	
56	生態学	生物圏環境科学科	石　井　　博	木１	理 A239	若干名	B	

学部名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
57	生理化学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	水２	理 A337	若干名	B	
58	保全生物学	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志	水１	理 A337	若干名	B	
59	環境化学計測	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	火２	理 A424	若干名	B	
60	環境動物生理学	生物圏環境科学科	田　中　大　祐	金２	理 C202	若干名	B	
61	植物生態学	生物圏環境科学科	和　田　直　也	月３	理 A336	若干名	B	
62	環境地球化学	生物圏環境科学科	上　田　　晃	火１	理 C104	若干名	B	

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	電子物性工学３	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	月・1	工25	5	B	
2	量子力学	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	月・2	工26	5	B	
3	電気回路１	電気電子システム工学科	飴　井　賢　治	月・3	工27	5	A	
4	ディジタル電子回路	電気電子システム工学科	戸　田　英　樹	水・1	工26	5	B	
5	アナログ電子回路２	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火・2	工26	5	B	
6	集積回路工学	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	火・2	工25	若干名	B	
7	電子物性工学１	電気電子システム工学科	森　　雅　之	火・3	工26	若干名	B	
8	熱・波動	電気電子システム工学科	小　野　行　徳	火・4	共D22	5	A	
9	半導体デバイス１	電気電子システム工学科	前　澤　宏　一	火・4	工26	若干名	B	
10	電力応用工学	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・2	工26	若干名	B	
11	電気エネルギー工学２	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	月・2	工25	若干名	B	
12	電気数学３	電気電子システム工学科	堀　　匡　寛	水・2	工26	5	B	
13	信号処理工学	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木・1	工25	5	C	
14	電磁気学１	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	金・1	工27	5	B	
15	電磁波工学２	電気電子システム工学科	安　藤　彰　男	水・1	工25	5	B	
16	電気機器工学１	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	金・3	工26	5	B	
17	システム制御工学２	電気電子システム工学科	チャピ　ゲンツィ	金・3	工24	若干名	C	
18	計算機工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	金・4	共D12	5	A	
19	送配電工学２	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	水・2	工25	5	C	
20	デジタル信号処理	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・2	工34	10	B	
21	知的システム	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月・3	工34	5	B	
22	ブレインコンピューティング	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・1	工32	若干名	B	
23	数値解析	知能情報工学科	春　木　孝　之	月・4	工34	5	B	
24	組込みシステム	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	月・4	工32	10	C	
25	離散数学	知能情報工学科	菊　島　浩　二	火・4	未定	5	A	
26	電子回路Ⅰ	知能情報工学科	田　端　俊　英	金・4	未定	若干名	B	
27	情報セキュリティ	知能情報工学科	村　山　立　人	火・2	工32	5	C	
28	マルチメディア工学	知能情報工学科	唐　　政	月・5	工32	10	C	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	微分積分Ⅱ	知能情報工学科	角　畠　　浩	火・1	共D12	10	A	
30	プログラミングⅡ	知能情報工学科	酒　井　　充	木・4	共C11	若干名	B	・プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。
31	通信システム	知能情報工学科	菊　島　浩　二	木・4	工32	5	B	
32	確率論	知能情報工学科	村　山　立　人	金・1	工31	若干名	A	
33	フーリエ解析	知能情報工学科	長谷川　英　之	月・1	工31	5	A	
34	材料力学第２	機械知能システム工学科	木　田　勝　之	金・3	工28	5	B	
35	自動車工学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆 川　口　清　司 小　熊　規　泰 高須賀　祥　隆 金　子　　誠	月・3	工28	若干名	B	
36	基礎材料工学	機械知能システム工学科	高　辻　則　夫	火・1	工34	5	B	
37	工業数学Ｂ	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐	火・1	工35	10	B	
38	流体力学	機械知能システム工学科	川　口　清　司	火・1	工21	5	B	
39	要素設計学第２	機械知能システム工学科	小　熊　規　泰	火・2	工28	若干名	C	
40	環境工学概論	機械知能システム工学科	平　澤　良　男	水・1	工35	5	B	
41	化学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	水・2	共D11	若干名	A	
42	数値解析	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	水・2	工25	5	B	
43	計測工学・精密測定学演習	機械知能システム工学科	田　代　発　造	木・1	工28	5	B	
44	基礎熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	木・3	工27	若干名	B	
45	力学第２	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	木・4	共D22	5	A	
46	強度設計工学	機械知能システム工学科	笠　場　孝　一	木・4	工27	5	B	
47	シミュレーション工学	機械知能システム工学科	タチアナ　ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	情報基盤センター4階・第4端末室	若干名	B	・パソコン使用（端末室の授業）
48	ロボット工学	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	金・4	工28	5	B	
49	基礎生理学	生命工学科	中　村　真　人	火・3	工31	若干名	B	
50	健康・福祉工学	生命工学科	中　村　真　人	月・3	工31	10	B	
51	細胞代謝学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	火・1	工33	10	B	
52	データ解析概論	生命工学科	黒　岡　武　俊	火・2	工学部端末室	若干名	B	・パソコン使用（端末室の授業）
53	環境衛生工学	生命工学科	山　本　辰　美	火・2	工33	若干名	B	
54	物理薬剤学・製剤学	生命工学科	森　　英　利	火・4	工33	5	A	
55	細胞生物学	生命工学科	篠　原　寛　明	木・4	工32	若干名	B	
56	システム工学	生命工学科	黒　岡　武　俊	月・2	工学部端末室	10	B	・パソコン使用（端末室の授業）

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
57	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	水・3	工34	若干名	B	
58	英語コミュニケーション	生命工学科	キタノ　アスカ	水・4	工34	若干名	B	
59	生物反応工学	生命工学科	星　野　一　宏	金・2	工32	5	B	
60	物理化学Ⅰ	生命工学科	森　　英　利	金・4	工33	5	B	
61	無機化学Ⅰ	生命工学科	篠　原　寛　明	火・1	共D21	若干名	A	
62	生体計測工学	生命工学科	川　原　茂　敬	火・1	工31	5	B	
63	細胞代謝学Ⅰ	生命工学科	佐　山　三千雄	木・1	工32	10	B	
64	高分子物性化学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	月・2	工31	10	C	
65	分子固体物性工学	環境応用化学科	宮　崎　　章	金・1	工24	10	C	
66	基礎化学工学	環境応用化学科	劉　　貴　慶	火・3	工24	5	B	
67	分子構造解析演習	環境応用化学科	遠　田　浩　司	火・2	工24	5	C	
68	高分子合成化学	環境応用化学科	北　野　博　巳	火・4	工24	5	B	
69	有機分子工学	環境応用化学科	堀　野　良　和	水・1	工36	若干名	B	
70	界面材料工学	環境応用化学科	伊　藤　研　策	水・2	工35	10	C	
71	機器分析	環境応用化学科	遠　田　浩　司	木・2	工31	5	C	
72	反応工学	環境応用化学科	椿　　範　立	木・3	工31	若干名	B	
73	工学特論（量子化学）	環境応用化学科	石　山　達　也	金・2	工24	若干名	B	
74	分析化学	環境応用化学科	加賀谷　重　浩	金・4	工22	5	A	
75	無機材料化学	環境応用化学科	會　澤　宣　一	月・5	工31	5	C	
76	有機材料工学	環境応用化学科	米　山　嘉　治	金・3	工31	5	B	
77	粉体工学	材料機能工学科	高　瀬　　均	木・2	工23	5	B	
78	相変態序説Ⅰ	材料機能工学科	松　田　健　二	月・2	工22	若干名	B	
79	結晶構造解析学	材料機能工学科	佐　伯　　淳	木・3	工32	3	B	
80	材料機能工学演習Ⅲ	材料機能工学科	柴　柳　敏　哉 高　瀬　　均 吉　田　正　道 山　根　岳　志	火・ 1，2	工23	5	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A 棟
- B1 B1 棟
- B2 B2 棟
- C C 棟 生協コンビニ
- D D 棟
- E E 棟
- F F 棟 [芸術文化図書館]
- G G 棟 [アリーナ]
- H H 棟 レストラン・売店（講堂）

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム

〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180

TEL　0766－25－9138　FAX　0766－25－9212

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P28 ～ 29 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 27 年 10 月２日（金）～平成 28 年２月２日（火）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている「後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月７日（月）から９月24日（木）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766−25−9138　FAX 0766−25−9212
通常は月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。
・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。
１授業科目　　9,300円（税込）
（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟1階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承くだい。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

8　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回学務チームの掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	クラフトデザイン	渡　邉　雅　志	月・1,2	E-150	2人	B	10/5,19	・学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 ・材料費が別途必要。 ・傷害保険への加入が必要。 ・13,300円
2	構造力学1	大　氏　正　嗣	月・1	B-117	5人	B	10/5,19	
3	西洋演劇史	深　谷　公　宣	月・2	B-212	2人	A	10/5,19	
4	イングリッシュ・コミュニケーション中級2	Wilson Bruce Grahame	月・3	B-211	若干名	B	10/5,19	・英語による授業です。
5	中国語読解2	山　田　眞　一	月・3	H-291	若干名	B	10/5,19	・ピンインが正しく読め、中国語の辞書が引けること。 ・パソコン使用 （端末室の授業）
6	家具デザイン・制作	小　松　研　治	月・4,5 木・1,2	D-149	2人	B	10/5,8	・木工手道具がある程度使える経験者であること。 ・傷害保険への加入が必要。 ・10/5～11/30まで ・13,300円
7	クラフト品製作	小　松　研　治 高　橋　誠　一	月・4,5 木・1,2	D-149	3人	B	12/3,7	・コンピュータを使用した検索、資料作成、出力作業ができること。 ・12/3～2/1まで ・13,300円
8	人と木のある暮らし	渡　邉　雅　志	月・5	B-213	5人	A	10/5,19	・複数回のレポート提出あり。
9	異文化理解文献研究（中国語）	山　田　眞　一	火・4	B-211	若干名	C	10/6,13	・ピンインが正しく読め、中国語の辞書が引けること。
10	構造計画	大　氏　正　嗣	火・1	B-117	5人	A	10/6,13	・傷害保険への加入が必要。
11	建築インテリア構法	丸　谷　芳　正 上　原　雄　史	火・3	B-117	制限なし	B	10/6,13	
12	デザイン史	大　熊　敏　之	火・1	B-116	若干名	B	10/6,13	
13	彫刻実習（塑造）Ⅱ	平　田　昌　輝	火・1,2	B-112	2人	C	10/6,13	・人体塑造についての経験を有し、石膏型取りを一人で難なく行える知識・技能が必要。 ・作業服・材料費が別途必要。 ・傷害保険への加入が必要。 ・13,300円
14	刳り物	小　松　研　治	火・4,5 木・4,5	D-149	3人	B	10/6,8	・作業しやすい服装で出席して下さい。 ・傷害保険への加入が必要。 ・10/6～12/1まで ・13,300円
15	造形材料（金属材料1）	長　柄　毅　一	火・1	E-456	若干名	B	10/6,13	・造形金属材料基礎の講義を受講しているか，またはそれに相当する知識を有していること。
16	造形材料（金属材料2）	野　瀬　正　照	火・3	E-456	5人程度	B	10/6,13	・造形材料（金属材料1）の講義を受講しているか，またはそれに相当する知識を 有していることが望ましい。
17	漆工素地制作B	小　川　太　郎	火・2,3	D-130	若干名	B	10/6,13	漆塗装またはそれに相当する知識を有していることが望ましい。 学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 作業服・材料費が別途必要。 難易度はBとなっておりますが専門性とある程度の技術力が必要とされます、漆かぶれの危険性も高いカリキュラムですのでご勘案の上応募ください。 傷害保険への加入が必要。 ・13,300円
18	東洋美術史料講読	三　宮　千　佳	火・3	H-283	若干名	B	10/6,13	
19	建築とリサイクル	堀　江　秀　夫	水・2	B-116	10人	A	10/7,14	

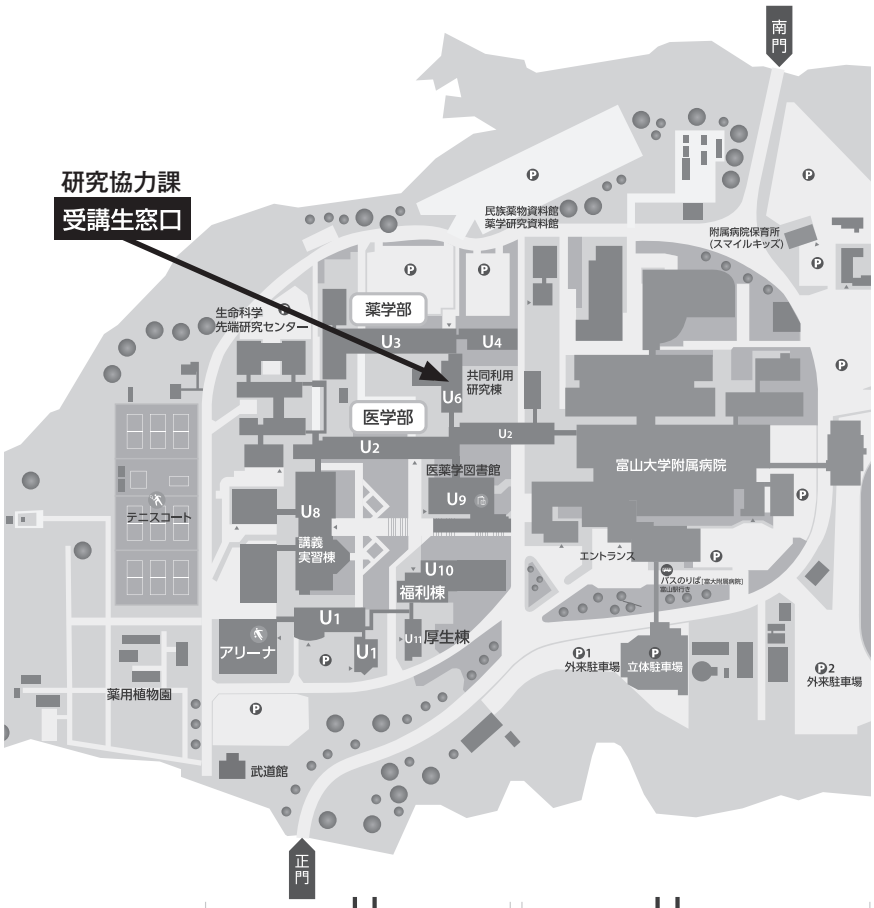
番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
20	色彩基礎演習	武　山　良　三	水・1	B-213	2人	A	10/7,14	・アドビ社のイラストレータ、フォトショップの基本操作が行える事が望ましい。
21	コミュニケーションスケッチ	小　松　研　治 内　田　和　美	水・1,2	B-212	5人	C	10/7,14	・13,300円
22	木質材料入門	堀　江　秀　夫	水・1	B-117	10人	A	10/7,14	
23	比較美術史入門	大　熊　敏　之	水・1	B-116	若干名	A	10/7,14	
24	デザインマネジメント概論	有　田　行　男	木・2	B-212	若干名	A	10/8,15	・グループワーク・課題あり。
25	空間デザインG （公共施設のインテリア）	丸　谷　芳　正 C・ジュゼッペ	木・1,2	C-336	3人	A	10/8,15	・13,300円
26	西洋美術史A	松　田　　愛	木・1	B-212	10人	A	10/8,15	
27	英米文学入門	深　谷　公　宣	金・2	B-116	2人	B	10/2,9	・英語の詩と小説を講読します。辞書を持参下さい。
28	感性をはぐくむ	渡邉　雅志　他	金・2	B-212	5人	A	10/2,9	・毎回レポート提出あり。
29	デザイン工芸入門B	渡　邉　雅　志 内　藤　裕　孝	金・4,5	D-134, 133	2人	A	10/2,9	・学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 ・作業服・材料費が別途必要。 ・傷害保険への加入が必要。 ・11/20 ～ 1/29 まで
30	工芸・デザイン材料	堀　江　秀　夫	金・1	B-117	10人	A	10/2,9	
31	造形のための工学	辻　合　秀　一	金・1	H-291	5人	A	10/2,9	・パソコン使用 （端末室の授業）

※教室の収容人数の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



医学部

- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟

薬学部

- U3 薬学部研究棟

- U6 共同利用研究棟
- U8 講義実習棟
- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟

<杉谷キャンパス受講生窓口>

富山大学　研究協力課

〒 930-0194　富山市杉谷 2630

TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P36 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 27 年 10 月２日（金）～平成 28 年２月２日（火）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 27 年度後学期授業日程でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **９月７日（月）から９月24日（木）まで** に下記杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　研究協力課
〒930-0194　富山市杉谷2630
TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656
通常は月曜日から金曜日の8:30から17:15まで受付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

　自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務課　学部教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１３１

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	数理科学	笹　野　一　洋	月・3	202	若干名	A	10/5	
2	線型代数学	笹　野　一　洋	火・2	302	若干名	A	10/6	
3	自然現象のモデル化とその解析	笹　野　一　洋	金・2	203	若干名	B	10/2	
4	英語Ⅳｃ	キタノ　アスカ	金・4	201	若干名	A	10/2	

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

平成 27 年度後学期
富山大学　オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学部名等		
授業科目	番　号 （　　）	
担当教員		
授業曜日・時限	曜日　　限	
授業での パソコン使用	（該当する方に○を付けてください） 有　・　無 （有の場合） 端末室の授業　・　Moodle 使用	※科目一覧の備考欄に「パソコン使用」とある場合に、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となります。

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**９月７日（月）から９月 14 日（木）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や、緊急情報を携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

富山大学五福キャンパス

富山市五福3190
（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



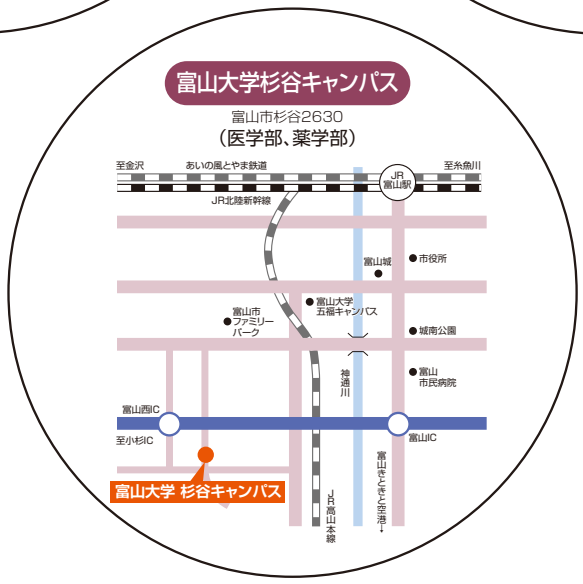
富山大学高岡キャンパス

高岡市二上町180
（芸術文化学部）



富山大学杉谷キャンパス

富山市杉谷2630
（医学部、薬学部）



富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190番地　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。